

【2月21日（月）Zoom 朝礼のお話】

全校のみなさん、おはようございます。早いもので2月もあと一週間ほどとなりました。昨日は北京オリンピックの閉会式が行われ、17日間に及ぶスポーツの祭典が終わりました。みなさんはどの種目が心に残っているでしょうか。様々な種目で選手の頑張りから、たくさんの感動や勇気をもらえた大会でした。

今日は、この草平小学校独自の、歴史ある「山内賞」についてお話をします。草平小学校の池西という地区に「山内慶次」という人の記念碑があることを知っていますか。

この山内慶次さんは、今から145年前の1877（明治10年）に、現在の池西地区に生まれました。家は大変貧しく、山内さんは家の手伝いをしなければならず、なかなか学校へ通うことができませんでした。そのような環境の中でも、一生懸命に勉強をして、今の草平小学校である「草平尋常小学校」を卒業しました。

そのころ、佐織地区では海外に渡り、成功を収めて日本の自分の家に大金を送っていた人がいました。その時代に外国へ渡るということは本当に大変だったと思いますが、山内さんも成功を夢見て、30歳の時にメキシコに、さらにその後アメリカのロスアンゼルスに渡りました。そして、苦勞の末、自分の農場をもって農場経営で大成功を収め、たくさんのお金を手にしました。

その後、日本に戻った山内さんは、「自分は家が貧しくてなかなか学校に行けずに苦勞したけれど、草平小学校の子どもたちには安心して勉強してほしい」と、手にした大金の一部を寄附してくれました。そのお金を基に草平小学校に「山内賞」が設けられました。その寄附は、山内さんが83歳から始まり89歳でこの世を去るまで7年間も続きました。また、その偉業をたたえて、1965年には、池西地区に記念碑が建てられました。

現在もその寄付金の「山内賞」は、毎年草平小学校を卒業する6年生に一人一本の鉛筆を贈ることに使われています。それは、山内さんが亡くなられて55年の月日が経った今年も贈られます。

今日は、6年生の人たちに「山内賞」の鉛筆を贈呈したいと思います。

そして、母校を思う山内さんに感謝の気持ちを込めて、来週3月3日の下校時に、池西の通学団の6年生が記念碑の清掃と献花を行います。

草平小学校に、このように地元のために尽くしてくれた人がいることを誇りに思い、感謝して学校生活を送りながら、卒業してほしいと思います。

6年生の皆さんも、卒業まであとわずかになりました。1年生から5年生までの皆さんに「6年生とは、最上級生とはこういうものだよ」というリーダーとしての姿を、様々な場面でたくさん見せてあげてほしいと思います。

一週間元気に笑顔で過ごしましょう。